

(別紙12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	社会福祉法人敬友会 おいたまの郷
実習期間	令和 2 年 2 月 17 日 ~ 令和 2 年 2 月 21 日
学生氏名	高橋 剛
実習プログラム	<p>実習期間 令和2年2月17日～令和2年2月21日 出退勤時間 9：00～16：00</p> <p>2月17日 デイサービス 09：00 朝礼、実習生挨拶、オリエンテーション 09：30 利用者到着までの準備・到着後のケア 10：00 入浴後の髪乾かし 11：30 利用者の方とコミュニケーション 12：05 食事の準備と見守り 12：30 昼食 13：30 デイサービスの1日の流れなどの説明 14：00 レクリエーション参加、利用者の方とコミュニケーション 15：00 おやつ準備 15：30 記録</p> <p>2月18日 特別養護老人ホーム 従来棟 09：00 利用者の方とコミュニケーション 10：00 水分準備・介助見学、体験 11：00 昼食前の水分、おしぼり準備 11：30 昼食 ユニット棟 12：30 昼食介助、おむつ交換、トイレ介助見学 14：00 入浴介助・洗体介助見学、入浴後の髪乾かし 15：00 記録</p> <p>2月19日 地域包括支援センター 09：00 地域包括オリエンテーション 10：00 地域サロンへの参加 12：30 昼食 14：00 自立支援型地域ケア会議への参加 16：30 記録</p> <p>2月20日 地域包括支援センター 09：00 認知症地域支援推進員会議への参加 12：30 昼食 13：30 地域包括支援センターでのケアマネージャーの業務についての説明 15：00 記録</p>

	<p>2月21日 地域包括支援センター 09：00 同行訪問（介護予防支援ケース） 11：45 権利擁護事例の説明 12：45 昼食 14：00 権利擁護関係研修会への参加 17：00 記録</p>
<p>学び・気づき (300字程度)</p>	<p>今回のインターンシップでは3つ現場で実習させて頂いた。そこで共通して大事だったのは利用者の方を第一に考えるということである。デイサービスでは、職員の方が利用者の方を飽きさせない工夫をその方々の目線になって考えていた。特別養護老人ホームでは、利用者の方の気持ちを想像してその方の負担を少しでも軽減できるように努めていた。地域包括支援センターでは、様々な職種の人達との連携が利用者の方の支援につながるということを学んだ。他にもデイサービスと特別養護老人ホームでは利用者の方に常に声がけを、地域包括支援センターでは利用者の方の話を否定せず、受容して話されていた。このことから利用者の方の気持ちを考えて支援やサービスを行っていると感じた。</p>
<p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p>	<p>実習で様々な職種の視点と役割を理解しネットワークを形成することが大事だと教えて頂いた。様々な職種の視点と役割を理解するために日々の講義の学びはもちろんだが、現場の方々と交流する限られた機会を活かし、新たな学びや気づきを得られるようにしたい。また、相手を理解しようとする姿勢は利用者の方の気持ちを尊重することにつながると思うので、日々の生活から相手を理解しようとする気持ちや、友人を大切にしようというような当たり前のことを当たり前にできるように心掛けていきたいと思う。</p>
<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>職員の方が利用者の方に対して親しみやすいような関係を築いていた。例えば堅苦しい話し方ではなく、くだけた話し方でかつ丁寧な態度で接していた。利用者の方お話ししている時に職員の方への感謝の気持ちを話していたことから職員の方への信頼は厚いということが分かり、そこが一つの魅力なのではないかと感じた。また、地域の高齢化や人口減少などの課題がある中で、身近に相談できる場所やサロン等の定期的集まり交流できる機会があることの重要性を感じた。サロンは定期的に関することで地域の高齢者の方が集まって交流することができ、介護予防や認知症予防の意識もめることができる。そのような機会づくりを行っていることも魅力だと感じた。</p>
<p>写真 (1～3点)</p>	